(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3907225号
(P3907225)
(45)発行日　平成19年4月18日(2007.4.18)　(24)登録日　平成19年1月26日(2007.1.26)

(51)Int.Cl.　F I
A63F 7/02 (2006.01)　A63F 7/02 326C
A63F 7/02 349A
A63F 7/02 304D

請求項の数 1　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願平7-223681
(22)出願日　平成7年8月31日(1995.8.31)
(65)公開番号　特開平9-66150
(43)公開日　平成9年3月11日(1997.3.11)
審査請求日　平成14年5月23日(2002.5.23)

(73)特許権者　000132747
株式会社ソフィア
群馬県桐生市境野町７丁目２０１番地
(74)代理人　100075513
弁理士　後藤　政喜
(74)代理人　100084537
弁理士　松田　嘉夫
(72)発明者　井置　定男
群馬県桐生市宮本町３－７－２８

審査官　納口　慶太

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技機の枠構造

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
外枠に収装された内枠に遊技盤が装着されると共に、島設備に外枠を収納した遊技機において、
前記内枠は、前記外枠の内奥に位置されると共に、当該外枠に対して前方に移動して開閉可能に設けられ、
前記外枠は、内奥に位置する前記内枠の表面に内縁部を臨ませ、
前記島設備に内蔵されたランプに対応する前記内縁部の所定位置に開口を形成して、該開口にレンズ部材を取り付けたことを特徴とする遊技機の枠構造。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
この発明は、遊技機の枠構造に関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、遊技盤（遊技本体部）に表示装置、変動入賞装置等を設け、所定の入賞条件および表示装置等の遊技条件にしたがって、遊技者に有利な遊技状態を発生するパチンコ遊技機がある。
【０００３】
このような遊技機は、四辺形をした外枠の片側に支軸を設け、この外枠に支軸を介して四

辺形をした内枠を開動可能に取付け、この内枠のパネル部に遊技盤等を装着していた。
【０００４】
【発明が解決しようとする課題】
この従来の遊技機にあって、外枠は、内枠を取付ける、および遊技機を遊技店の島設備（遊技機収納設備）に取付ける機能のみであった。また、内枠の裏側に隠れるようになっていた。このため、外枠は機能に重点を置いた構造になっており、装飾性に乏しかった。
【０００６】
この発明は、このような問題点を解決することを目的としている。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
第１の発明は、外枠に収装された内枠に遊技盤が装着されると共に、島設備に外枠を収納した遊技機において、前記内枠は、前記外枠の内奥に位置されると共に、当該外枠に対して前方に移動して開閉可能に設けられ、前記外枠は、内奥に位置する前記内枠の表面に内縁部を臨ませ、前記島設備に内蔵されたランプに対応する前記内縁部の所定位置に開口を形成して、該開口にレンズ部材を取り付ける。
【００１３】
【発明の実施の形態】
以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。
【００１４】
図１は遊技機（パチンコ機）の正面図、図２はその側面図を示す。
【００１５】
遊技機の外形は、ほぼ全体的に丸形に、下部が方形に形成されている。この外形を形成する外枠１に内枠２が収装される。
【００１６】
外枠１は、丸形部位が筒状に、その筒状部４の前開口面がいくらか奥方に傾斜するように形成され、下部は箱状に形成される。
【００１７】
内枠２は、外枠１の筒状部４の内側に配設された枠本体１２の前面にパネル部３が設けられる。
【００１８】
パネル部３には、図３のように遊技盤（遊技本体部）５が装着され、パネル部３の前面に遊技盤５を覆い、保護するカバーガラス８がガラス枠６を介して配設され、前方に膨出されたパネル下部７に遊技の操作部１０が配設される。
【００１９】
内枠２の枠本体１２は、パネル部３と共に外枠１に前後方向に移動可能に設けられ、図２のように初期位置にあるとき、パネル部３が外枠１の内奥に位置され、周囲を外枠１の筒状部４にて囲われる。
【００２０】
この初期位置にて、図４のように外枠１の筒状部４の表面部位つまりパネル部３の表面に臨む内縁部２０の所定位置にそれぞれ窓状の開口が形成され、それぞれ開口に装飾部材としてクリアなレンズ部材２１が取付けられる。レンズ部材２１の表面には模様が施され、図２のように外枠１の筒状部４の外周側から開口に装着される。
【００２１】
パネル部３は、図５のように開閉可能に形成される。
【００２２】
遊技盤５の表面には、打球発射装置から遊技球が発射される遊技領域が形成され、遊技領域の中央に遊技画像等を表示する画像表示装置１４が、その下方に変動入賞装置１５等が配設される。遊技盤５の裏面には、遊技球を導く誘導樋、遊技制御装置１６等が配設される。
【００２３】

パネル下部７の操作面は前方に下がり傾斜面に形成され、その操作面に打球の発射装置の打球発射等をコントロールする遊技操作部１０、ならびに自動玉貸し装置等の操作部１７等が形成される。

【００２４】

遊技機の島設備２３には、図６のように遊技機が設置される収納室２４が形成される。収納室２４は、遊技機が設置された状態にて遊技機の外形が隠れる大きさに形成される。

【００２５】

収納室２４の内部には、遊技機の外枠１の内縁部２０のレンズ部材２１に対応する所定位置にそれぞれランプ（またはフラッシュ）２５が配設される。このランプ２５等によって、収納室２４内から図７のようにレンズ部材２１が照らされて、装飾される。

【００２６】

なお、図６の島設備２３は部分的に表してあり、全体では多数の遊技機が配設される。また、図６中、４０は画像表示装置１４の始動回数、大当たり遊技の発生回数等を表示する遊技情報表示装置を、４１は遊技カードに金額を付加する金額付加装置を、４２は管理装置側との光通信部を示す。

【００２７】

このように構成したので、従来内枠および遊技機を島設備に取付けるのみの外枠１に装飾機能を持たせることができる。

【００２８】

外枠１の筒状部４が内枠２のパネル部３を囲うと共に、そのパネル部３の表面に臨む内縁部２０にレンズ部材２１を配設して、収納室２４内からランプ２５等によってレンズ部材２１を照らすので、奥行き感が増すと共に、美観の良い、また意外性のある装飾を行える。

【００２９】

したがって、高い装飾効果を得ることができる。また、遊技機のデザインの高い自由度を得ることができる。

【００３０】

なお、内縁部２０にミラー（鏡）あるいはハーフミラー等を配設しても良い。ミラーの場合は、収納室２４内のランプ２５等は不要になる。

【００３１】

図８、図９は別の実施の形態を示すもので、外枠１の筒状部４における内枠２のパネル部３の表面に臨む内縁部２０の所定位置に凹部５０を形成して、この凹部５０に表示部材として所定のシール５１を貼るようになっている。

【００３２】

このシール５１には、例えば「（７　７　７）、（３　３　３）の組合わせで大当たりが発生すると、無制限」等の情報を印刷してある。

【００３３】

また、遊技の大当たり図柄の組合わせや遊技の内容等の情報を印刷したシール５１でも良い。

【００３４】

このように外枠１の内縁部２０に遊技情報を表示するシール５１を配設すれば、従来のように遊技盤の前面を覆うカバーガラスに配置することによって遊技領域が隠れるといった不具合を防止できる。

【００３５】

この場合、内縁部２０に凹部５０を形成してシール５１を貼るので、内枠２の移動の支障になることはない。

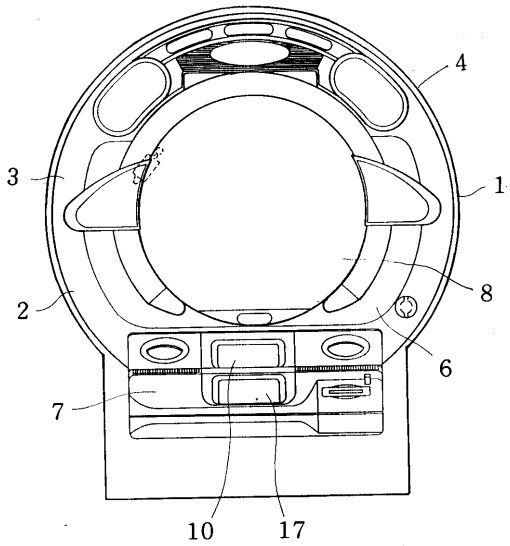
【００３６】

なお、シール５１に広告情報を印刷しても良い。シール５１は簡単に剥がせるため、実用性が高い。

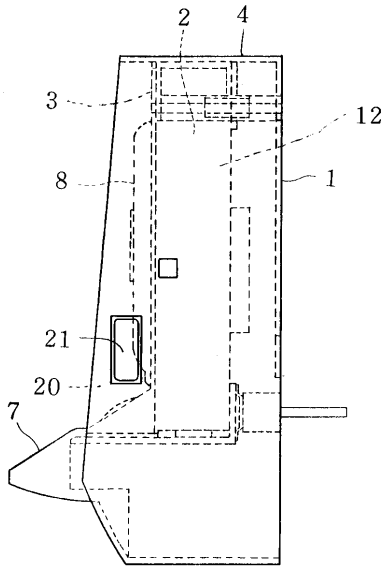
【００３７】

【発明の効果】
以上のようにこの発明によれば、高い装飾効果を確保できる。
【図面の簡単な説明】
【図１】遊技機の正面図である。
【図２】遊技機の側面図である。
【図３】遊技機のカバーガラス枠を開いた状態の正面図である。
【図４】レンズ部材を取付けた外枠の内縁部分を示す図である。
【図５】遊技機の内枠のパネル部を開いた状態の斜視図である。
【図６】遊技機島設備の部分斜視図である。
【図７】レンズ部材の照明説明図である。
【図８】他の実施の形態を表し、シールを貼った外枠の内縁部分を示す図である。
【図９】その内縁部分の断面図である。
【符号の説明】
１　外枠
２　内枠
３　パネル部
４　筒状部
５　遊技盤
６　ガラス枠
８　カバーガラス
１０　遊技操作部
１２　枠本体
２０　内縁部
２１　レンズ部材
２３　島設備
２４　収納室
２５　ランプ
５０　凹部
５１　シール

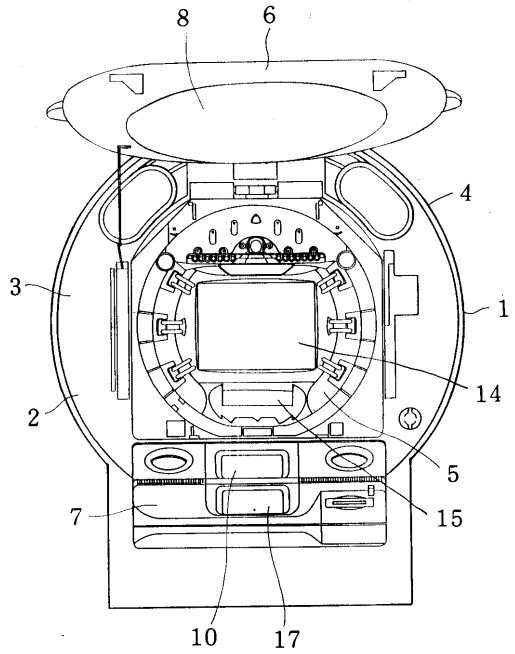
【図１】



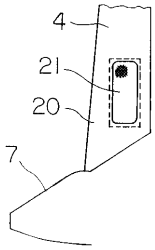
【図２】



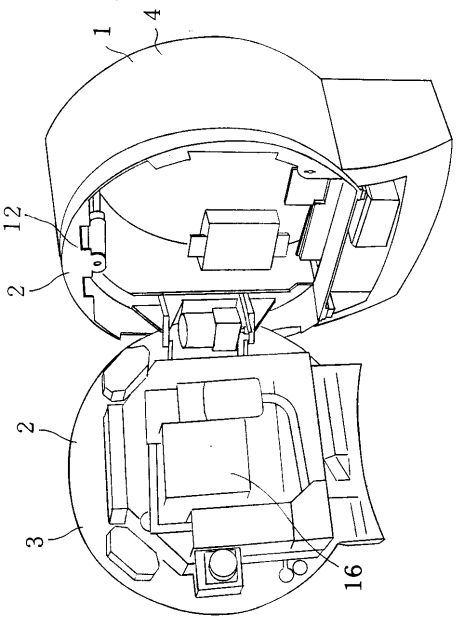
【図３】



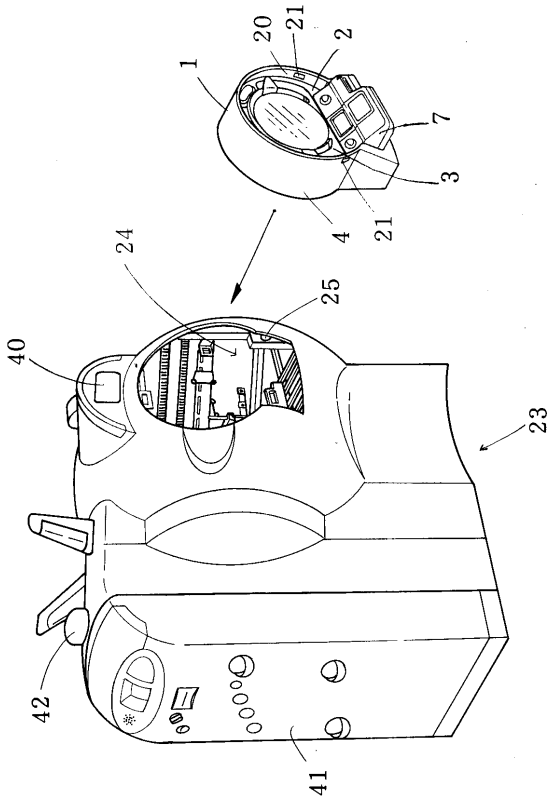
【図４】



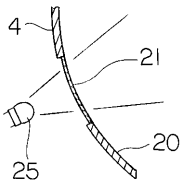
【図５】


1
4
12
2
2
3
16

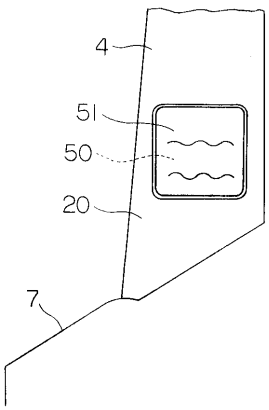
【図６】


20
21
2
1
7
3
4
21
24
25
40
23
42
41

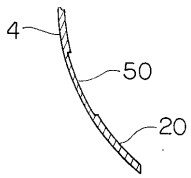
【図７】


4
21
25
20

【図８】


4
51
50
20
7

【図９】


4
50
20

フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０７－１８５０９５（ＪＰ，Ａ）
実開平０５－００９５８６（ＪＰ，Ｕ）
実開平０２－０６５９８０（ＪＰ，Ｕ）
実開平０４－０６７４８５（ＪＰ，Ｕ）
実開昭６３－０８５２８３（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
A63F 7/02